

FOCUS

追いかける。大学生。

「留学生生活非常に楽しいです!」。神戸女学院大2年のある女子学生は、イギリスのサセックス大学で約1カ月の語学研修をしている。昨年はバイトと部活の日々だったが、今年は一変した。

毎日学校があり、学校が終わってからもブライトン(大学のある町)を見て回っている。「結構アクティブな生活を送っている」という。

「英語力が確実に上がっているのが実感できる」。授業はクラス分けのテストで各々

のレベルに合わせて行われ、しかも新たな表現や文化を知ることができる。

夏休みの半分という1カ月を占める期間の留学について、「はじめは迷いました」。所属する演劇部の練習を休むのが嫌だったからだという。しかし、留学先が自分の好きなイギリスであったことが留学を後押しした。帰国してからの残りの夏休みは、週4日演劇部の練習に参加する予定だ。

(聞き手 田中郁考)

大学生の夏期休暇の過ごし方

バイト、勉強、留学

大学生活は人生の夏休み。すると学生の夏休みは、「夏休みの中の夏休み」とでも言えようか。ともかくどう過ごすも自分次第だ。夏休みを頑張る「普通」の大学生に話を聞いた。

神戸大3年で法学部の男子学生は弁護士を目指して勉強に励む。予備校に通い、1日平均4時間を勉強にあてている。「興味のある分野やし、将来に直結してるから楽しい」という。

部活やアルバイトとバランスをとりながら勉強しており、部活やゼミの旅行で息抜きもする。「遊ぶのは今年で最後。来年は勉強一色になると思うから、楽しむときは楽しむ」。

彼にとって夏休みとは。「やりたいと思ったら何でもできる。せっかく時間があるから、新しいことを見つけていた方がいい」。

(聞き手 田中郁考)

勉強

留学

学生の夏休み

みんなどう過ごしてる?

バイト

関学2年のある男子学生は大阪の学習塾で夏期講習のバイトに打ち込んでいます。お金を稼ぐためではない。教員という夢へ向けて、現場経験を積むためだ。

「(バイトは)楽しかったり楽しくなかったり半々」。中学3年生を教えており、多くの時間をバイトに割く。責任感から遊ぶ時間もあまりとらない。「本当はもっと遊んだりもしたかったけど」とぼろり。しかし、「教えていた生徒が『授業よかった』と言って慕ってくれるとやってみてよかったと思う」とやりがい話を話す。

「来年は自分の将来にむけて勉強しているやろうからこんな忙しなのは今年まで。笑顔で生徒たちを送り出すために最後の今年にかけている」。夏休みにバイトをする理由も人それぞれだ。

(聞き手 興津洋樹)

UNN 関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです